

鴨川公共空間整備基本プラン

京都府では、快適な利用の促進と自然環境に配慮した新しい鴨川の公共空間を創出する取り組みを進めます。

鴨川公共空間整備の基本的な考え方

1. 高水敷整備(ジョギングロード等の整備と利用拡大)

多様な主体が様々な目的で利用している鴨川等の高水敷が、一層地域に親しまれ、多くの人に利用されるよう連続化を図るとともに、ジョギングやウォーキング等の利便性・快適性向上を図る施設の整備を実施する。

2. 拠点箇所や緑化の整備(季節の移ろいや自然を身近に感じる河川空間の創出)

下流域において、自然な水際の再生等による親水空間の形成、新しい並木や木陰を設ける緑化整備を進め、季節の移ろいや自然を身近に感じる河川空間を創出する拠点整備を実施する。

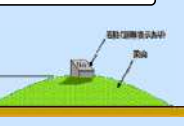
高水敷(ジョギングロード等)の整備概要

鴨川公園と高野川 [全長 17.2km]

- 快適に利用できるよう既設の高水敷遊歩道を活用・更新する。
 - ・足にやさしい土系舗装(新設、維持・補修時の更新)
 - ・芝生の舗装で拡幅(鴨川公園など高水敷に余裕がある区間)
 - ・市街地からの進入路の整備
- ウォーキングやジョギングの目安となるコース(→)設定を行う。
 - ・案内標識や距離標、橋梁名板、啓発標識(皆が安全・快適に利用するための注意)の設置等



距離標のイメージ



みそぎ川周辺

- 更に多くの人が快適に集い、憩い、利用できる高水敷整備を実施。
 - ・自然を感じ、やすらげる緑化整備(主に芝生)
 - ・足にやさしい土系舗装
 - ・治水上の支障がない構造
 - ・バリアフリー化
 - ・町並み、納涼床などと調和する色調

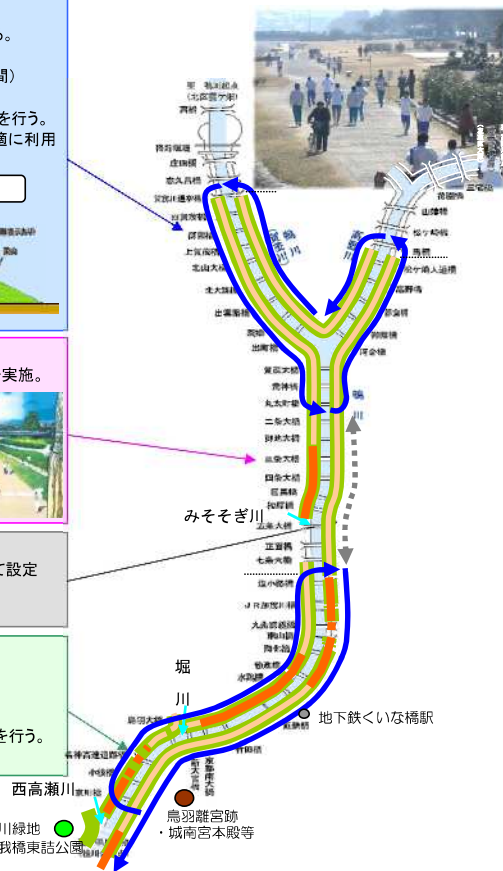
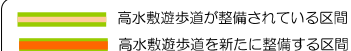


市街地中心部左岸(七条～二条) [全長 3.2km]

- 既設の遊歩道空間を、快適で安全に移動できる移動軸として設定
 - ・更新時の土系舗装
 - ・案内標識や距離標等の設置

鴨川下流 両岸 [全長 14.4km]

- 改修と合わせ、分断している高水敷と遊歩道を連続化する。
 - ・足にやさしい土系舗装
 - ・市街地からの進入路整備
- ウォーキングやジョギングの目安となるコース(→)設定を行う。
 - ・案内標識や距離標(路面表示含む)の設置



鴨川下流整備を考えるシンポジウムが開催されました(3月21日)

「鴨川下流域整備を考えるシンポジウムくろおいと安らぎの下流域を目指して」が3月21日に開催され、139名が参加し、「鴨川公共空間整備基本プラン(案)」の概要について、府民のみならずとも考える機会を設けることができました。

●開催日時 平成22年 3月21日(日・祝) 午後1時30分～午後4時00分

●場所 キャンパスプラザ京都「第一講義室」

●プログラム

- ・開会の挨拶(京都府知事 山田啓二)
- ・基調講演「変わってきた鴨川下流域の姿」 金田 章裕氏(人間文化研究機構 機構長)
- ・鴨川公共空間整備基本プラン(案)の説明 京都府河川課
- ・パネルディスカッション「これからの鴨川下流域における公共空間整備について」
 - コーディネーター
金田 章裕氏(人間文化研究機構 機構長/京大名誉教授)
 - パネリスト
中村 桂子氏(日本野鳥の会・京都支部副支部長/鴨川府民会議メンバー)
杉江 貞昭氏(鴨川を美しくする会事務局長/鴨川府民会議メンバー)
島田 和明氏(京都市都市計画局都市企画部都市政策担当部長/らくなん進都整備推進協議会)
望月 斐加氏(伏見観光協会/淀川管内河川レンジャー)

基調講演～変わってきた鴨川下流域の姿～

金田 章裕氏

「変わってきた鴨川下流域の姿」と題して、人間文化研究機構 機構長・京大名誉教授の金田章裕氏の基調講演が行われました。

鴨川の特徴や課題、これらを背景とする関連計画の説明をはじめ、中・上流での利用状況などにも触れながら、「一定の基盤整備が進んできたものの、今後はより多くの人に親しまれ、利用される空間としていくべき」と、鴨川下流域における課題と今後の整備の方向性について、示唆に富んだお話をいただきました。



パネルディスカッション～これからの鴨川下流域における公共空間整備について～

河川管理者(京都府河川課)による「鴨川公共空間整備基本プラン(案)」の説明の後、金田氏をコーディネーターに、パネルディスカッション「これからの鴨川下流域における公共空間整備について」が行われました。

パネリストの方々がそれぞれ専門とする「環境・水辺」「地域協働」「まちづくり」「商工・観光」の観点で、活発な意見交換が行われました。



中村氏(環境・水辺) 杉江氏(地域協働) 島田氏(まちづくり) 望月氏(商工・観光)

京都府建設交通部河川課・京都府京都市土木事務所

ご意見・お問い合わせ先: 075-414-5287 Email: kasen@pref.kyoto.lg.jp (建設交通部河川課)

詳細は、京都府鴨川ホームページをご覧ください <http://www.pref.kyoto.jp/kamogawa>

鴨川下流域拠点箇所等の整備概要

■水とのふれあい回廊

鳥羽大橋下流は、水とのふれあい回廊として、自然な水際の再生と高水敷からの緩やかなアプローチを確保して親水空間の整備を図る。



木工沈床、袋詰め根固め等、生物環境にも配慮した自然な水際の再生

緩やかな勾配を持たせた高水敷

整備イメージ横断面図

■緑の回廊

七条～鳥羽大橋間は、緑の回廊として、新しい並木や木陰を設ける緑化整備を図る。

高水敷の芝生緑化、堤防法面の低木植栽等、四季を感じる回廊を創出



整備イメージ横断面図



■拠点整備（候補地における整備のイメージ）

＜京川橋～小枝橋 右岸＞

- ・サイクリングロードからも立ち寄り、四季を感じる休憩スポット、鳥羽地区の歴史や鴨川のジョギングコースの案内サイン、水とふれあえる親水空間の創出
- ・河川改修と合わせた高水敷の環境整備

◆西高瀬川合流部整備イメージ図



＜堀川合流部＞

- ・堀川右岸堤防天端整備（公園と一体化した遊歩道整備等）
- ・連続性確保（木橋設置等による連続性の確保）
- ・堀川合流部背割り堤空間整備（桜並木の延伸、河川改修と合わせた親水性のある高水敷の整備等）

◆堀川合流部整備イメージ図



＜竹田橋～陶化橋 右岸＞

- ・開放的な空間を活かし、高架橋の圧迫感を緩和する並木植栽・休憩スポット等の整備を図り、新しい景観を創出
- ・河川改修と合わせた親水性のある高水敷の環境整備

◆勧進橋下流整備イメージ図



＜名神高速道路～鳥羽大橋＞

＜新大宮橋～竹田橋 左岸＞

- ・堤防法面や天端でスポット的な緑化整備を図り、あわせて木陰や休憩場所を設け憩いの場を創出

◆整備イメージ

